

平成29年度農研機構シンポジウム

東日本大震災の復興とオリンピック・パラリンピックへの 花き研究の貢献

平成29年11月7日(火) 13:00～ 8日(水) 12:00

つくば国際会議場（エポカルつくば）3F 中ホール300
(〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3)



参加費無料

プログラム

1日目（11月7日）

- ・ 基調講演 花き産業の復興について
農林水産省生産局 綱澤幹夫
- ・ 食料生産地域再生のための先端技術展開事業（先端プロ）福島県
「周年安定生産を可能とする花き栽培技術の実証研究」および
「水耕栽培によるトルコギキョウの周年生産システムの構築」の概要
農研機構 福田直子
- ・ トルコギキョウ育苗に関する研究動向と閉鎖系育苗に関する成果
広島県総合技術研究所農業技術センター 福島啓吾
- ・ トルコギキョウの蕾切り開花技術の開発
農研機構 湯本弘子
- ・ 夏秋トルコギキョウとカンパニュラの組み合わせによる周年生産体系の実証
福島県農業総合センター 矢吹隆夫
- ・ 露地電照栽培を核とした夏秋小ギク効率生産
農研機構 住友克彦

2日目（11月8日）

- ・ 花き産業における1964年の東京オリンピックの遺産と
2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの期待
お花がかり（株）竹谷仁志
- ・ 夏季高温期に対応できる花きによる景観維持技術の開発
東京都農林総合研究センター 岡澤立夫
- ・ バラ安定生産に向けた夏季高温期の環境制御と樹形管理
愛知県農業総合試験場 奥村義秀
- ・ 日持ち性に優れるダリアの育種研究の現状と展望
農研機構 小野崎 隆

参加登録

10月13日（金）までに以下から申し込みを行ってください。
<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2017/08/077089.html>

お問い合わせ

E-mail:sympo2017@ml.affrc.go.jp

主催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構